

場するものは有段者でなければならないが、その段位は問わない。

- ・年齢は平成29年4月1日までに当該満年齢に達している者であること。
 - ア サーティ(30歳以上)は昭和62年4月1日以前に生まれた者。
 - イ フォーティ(40歳以上)は昭和52年4月1日以前に生まれた者。
 - ウ フィフティ(50歳以上)は昭和42年4月1日以前に生まれた者。
 - エ ローシックスティ(60歳以上)は昭和32年4月1日以前に生まれた者。
 - オ ハイシックスティ(65歳以上)は昭和27年4月1日以前に生まれた者。
 - カ ローセブンティ(70歳以上)は昭和22年4月1日以前に生まれた者。
 - キ ハイセブンティ(75歳以上)は昭和17年4月1日以前に生まれた者。
 - ク ローエイティ(80歳以上)は昭和12年4月1日以前に生まれた者。
 - ケ ハイエイティ(85歳以上)は昭和7年4月1日以前に生まれた者。
 - ・全日本社会人卓球選手権大会出場者の本大会への重複出場は禁止する。ただし、ダブルスのみ全日本社会人卓球選手権大会への重複出場を認める。
 - ・外国籍選手は出場できない。ただし、日本で出生し、引き続き3年以上日本に在住している者、または引き続き10年以上日本に在住している者はこの限りでない。
 - ・各シングルス種目への参加は一人一種目とする。
5. 試合方法 各試合ともトーナメント方式。使用球は40mmホワイト球。
6. ルール 現行の日本卓球ルールによる。
全日本マスターズ出場者は粒高・アンチ(系)ラバーの使用制限はなし。
7. 注意事項 全日本社会人 全日本卓球選手権大会(マスターズの部)への重複出場は禁止する。
全日本卓球選手権大会(マスターズの部)
全日本社会人卓球選手権大会との本大会への重複出場は禁止する。
但し、ダブルスのみ全日本社会人選手権大会への重複出場は認める。
8. 申込締切 4月13日(水)
9. 中央大会 全日本社会人卓球選手権大会9月9日(金)～11日(日) 新青森県総合運動公園体育館
全日本卓球選手権大会(マスターズの部)10月21日(金)～23日(日) 北海道 函館アリーナ

第29回全国ホープス(西日本ホープス)卓球大会府予選会

1. 日 時 4月30日(土)午前9時～ 2. 会 場 島津アリーナ京都(京都府立体育館)第2競技場
3. 種目と代表数 ①男子の部……1チーム ②女子の部……1チーム
4. 全国大会 全国は8月13日～15日に東京体育館03-5474-2111にて
なお、西日本代表は、男子・女子各2チーム(予選会の2位及び3位)
西日本大会日は、8月19日～20日大阪市
5. 参加資格 平成15年4月2日以降生まれ、1チーム3～4名編成。粒高・アンチの使用は可。
1つのクラブの選手は全て同じ都道府県の登録者であること。
その他、参加者は平成28年度(財)日本卓球協会に登録した者(監督にて引率者含む)。
6. 試合方法 ABCXYZチームによる1D4S方式、使用球は40mmホワイト球。
7. 参加料 1チーム 3,000円(本大会参加料は10,000円)
8. 申込締切 4月20日(水)

第35回全日本クラブ卓球選手権大会府予選(小中学生の部)

1. 日 時 4月30日(土)午後1時～ 2. 会 場 島津アリーナ京都(京都府立体育館)第2競技場
3. 種目と代表数 男女小・中学生の部代表各1チーム
4. 参加資格 小・中学生の部男・女は、各種の全国大会に出場した者でもよい。また、年令の低い者だけで構成してもよい。
5. 試合方法 1 2 3 4 5
中学生以下 小学生 小・中学生 or 小学生同士 小学生 中学生以下
※小・中学生のみ年令の低い者が高い所への出場する事を認める
6. 参加料 1チーム 3,000円
7. 申込締切 4月20日(水)

第66回全日本実業団卓球選手権大会、第35回全日本クラブ卓球選手権大会府予選

1. 日 時 5月1日(日)9時～ 2. 会 場 綾部市体育館
3. 種目と代表数 (1)実業団 ①男子団体(4～6名) 3チーム ②女子団体(4～6名) 3チーム
いずれも1ダブルス4シングルの5試合3点先取制で単複を兼ねられる。
(2)全日本クラブ ③男子一般1部 ④女子一般1部 ⑤男子一般2部 ⑥女子一般2部
⑦男子50歳代の部 ⑧女子50歳代の部 ⑨男子60歳代の部
⑩女子60歳代の部
代表は男女とも各3チーム
4. 参加資格 (実業団予選) ・全国大会への参加選手は段級制規定に定められた有段者とする。
・チーム編成は、原則として京都府内の同一官公庁・警察署・消防署・工場・会社・商店・学校(以下団体